

令和5年度支部事業報告

1 支部研究発表会

第1回 令和5(2023)年7月14日(金) 13:25-16:00

場 所：北海道大学大学院環境科学院 D201 講義室および Zoom による同時配信のハイブリッド形式

発表6件(参加者 約40名)

第2回 札幌管区気象研究会と合同開催

日 時：令和5(2023)年12月12日(火)、13日(水)

場 所：札幌管区気象台大会議室および Zoom による同時配信のハイブリッド形式

発表4件(支部発表会1件と気象台から会員の発表3件)(参加者135名、内訳：会場43名、オンライン92名)

2 気象講座(一般向けのアウトリーチ)

開催なし

3 気象講演会(準専門家向けの講演会で高度専門知識の共有)

(ア)「第6回非静力学数値モデルに関する国際ワークショップ(NHM-WS2023)」の共催。令和5年8月31日~9月2日北海道大学学術交流会館およびTKP札幌駅カンファレンスセンター(参加者約98名、うち海外22名)

(イ)シンポジウム「気象状況に応じた北海道の効率的な物流体系の確保に向けて」(日本気象協会北海道支社 主催)の後援。令和5年10月31日ホテルポールスター札幌2Fポールスターホール(参加者110名)

(ウ)講演会「吹雪に関するマクロとミクロの視点」の開催。令和5年10月20日札幌管区気象台および Zoom による同時配信(参加者80名、内訳：会場22名、オンライン58名)

(エ)気象台と学会の交流の試行として、札幌管区気象台道央地区気象研究会を会員向けに公開した。

参加部署：札幌管区気象台及び新千歳航空測候所

日時：令和5年11月14日(火)

場所：札幌管区気象台大会議室(オンライン会議を併用)

4 細氷69号発行

5 顕彰の授賞

・北海道支部賞

星野剛 会員：北海道における気候変動情報の創出と河川リスクの評価

・北海道支部発表賞

第1回発表会

佐藤海斗 会員：数値モデルを用いた日本海筋状雲に対する温暖化実験

第2回発表会

森岡 丈博 会員：北海道周辺における 2021 年 7 月の高い海面水温が熱中症リスクに与えた影響の評価

6 理事会

第1回

日 時：令和5年6月13日(火) 13:30-14:30

場 所：札幌管区气象台（ウェブ会議システムを併用）

第2回

日 時：令和5年12月13日(水) 13:00-14:00

場 所：札幌管区气象台（ウェブ会議システムを併用）